

プレス発表資料



令和4年11月7日

秋田大学

秋田県における総合診療医の育成に向けた新たな取り組みが始まります

秋田大学医学部附属病院（病院長：南谷佳弘）は秋田県内外の各医療機関と連携し、令和5年度から総合診療医の育成に向けた新たな研修プログラム「あきたGP NET専門研修プログラム」をスタートさせます。

総合診療医は、幅広い領域の疾患を家族や生活背景を含めて多角的に診て診療を行うことができる医師で、他職種とも連携して地域全体の健康増進に寄与する医師で、高齢化や医師不足地域の医療の切り札として期待されています。

総合診療専門医の育成には、日本専門医機構の認定を受けたプログラムで、3年以上の研修が必要とされています。これまで、秋田県には総合診療医育成のためのプログラムが4つ存在しており、それぞれの基幹施設（秋田大学医学部附属病院・秋田厚生医療センター・中通総合病院・市立大森病院）で個々に総合診療医を育成していましたが、指導医の不足や新制度の専門研修プログラム運営の煩雑さが大きな課題になっていました。

そこで、秋田大学医学部附属病院総合診療医センター(*)を中心に、秋田県内のすべての二次医療圏の医療機関と連携することで4つのプログラムを統合し、「オール秋田」体制で総合診療医を育成する新しいプログラムを整備します。

これによって総合診療医を目指す若手医師は、さまざまな地域の医療機関に勤務しながら施設の特長を生かしつつ、総合診療医センターの指導医の十分なフィードバックを受けることで、効果的に総合診療を学ぶことが可能になります。

さらに、秋田県と近隣の総合診療医が情報ネットワークを形成し（GP NET：東北日本海側総合診療医絆ネットワーク）、総合診療医が意見交換・情報収集ができる仕組みを整えています。このネットワークは、日本プライマリ・ケア連合学会秋田県支部とも連動して、総合診療の学術の進歩・知識の普及に努めていきます。

*秋田大学は厚生労働省の「総合的な診療能力を持つ医師養成の推進事業」実施施設に指定されており、2021年に総合診療医センターが設置されています。

本件に関する説明会を下記の日程で実施いたしますので、ご出席よろしくお願いたします。

記

日 時：令和4年11月12日（土）14:30～

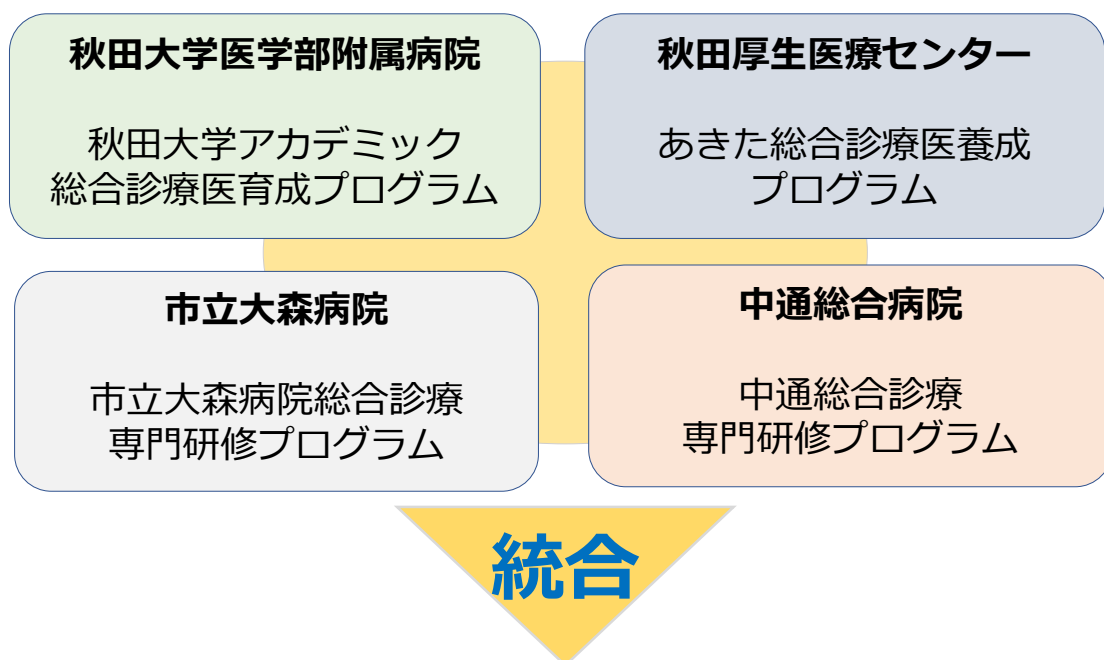
場 所：秋田大学本道40周年記念会館（本道キャンパス）

出席者：秋田大学医学部附属病院 総合診療医センター長 植木 重治
同副センター長 北村 俊晴
日本プライマリ・ケア連合学会秋田県支部副支部長 畑澤 千秋

※本説明会の後「日本プライマリ・ケア連合学会秋田県支部総会」が開催されます。
詳細はURL <https://www.jpcaakita.org/> をご覧ください。

担当：	秋田大学医学部附属病院
	総合診療医センター 渡邊 保
	TEL・FAX併：018-884-6209
	E-mail:gpcenter@jimu.akita-u.ac.jp

新しい総合診療医育成体制の構築



新設

あきたGP NET専門研修プログラム



秋田大学医学部附属病院
総合診療医センター

Akita University Hospital General Physician Center

運営協力・連携強化



新設

GP NET

(東北日本海側総合診療医
絆ネットワーク)



新体制

**日本プライマリ・ケア
連合学会秋田県支部**

